

日本海総合病院／酒田医療センター 広報誌

あきほ

第12号

2012年 3月



フレッシュ！（新生児と研修医・新人看護師）

目次

緩和ケアをご存知ですか？	2
顔が見えるNST活動	4
橋爪英二医師への一問一答	5

医療相談あれやこれや	6
院内トピックス	7
病院からのお知らせ	8

緩和ケアを「存知ですか？」

「つらさを和らげてあなたらしく生活するために」



＊緩和ケアってなんですか？

「緩和ケア」と聞くと、みなさんはどんなイメージをお持ちでしょうか。がんの治療が出来なくなった人のための最後の医療と誤解していませんか。

緩和ケアとは、身体的な苦痛や気持ちのつらさを少しでも和らげるためのケアを行い、それぞれの患者さんがその人らしく生活できるようにしていくことです。

＊いろいろな「つらさ」を和らげます

がんになると様々なつらい症状が現れることがあります。痛みやしびれ、倦怠感、食欲低下、吐き気・嘔吐、息苦しさなどがあります。身体の症状に加えて、落ち込んだり悲しくなったり、イライラする、どうしていいかわからないなど心のつらさが起こることもあります。長い間つらい症状が続くと、食欲や気力が落ち、これまで通りの生活を送ることが難しくなってしまうことがあります。身体やこ

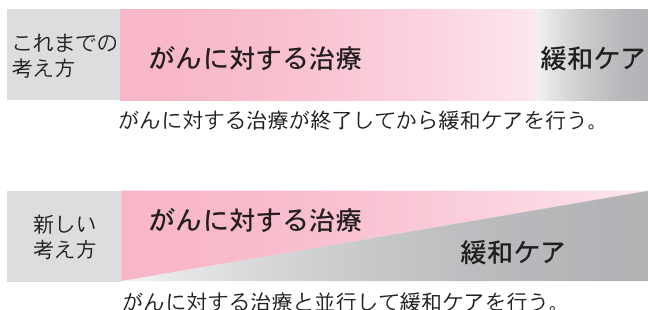
ころのつらさを和らげることは、とても大切なことです。

＊緩和ケアを受ける時期は？

緩和ケアはがんがんと診断されたときから、いつでも受けることができます。以前は、緩和ケアはがん治療の継続が難しくなった患者さんに対して行うものと考えられていました。しかし今では、つらさを取って自分らしく生活することが、病気の時期を問わず大切なこ

がんの治療と緩和ケアの関係

がんの経過



とだと考えられています。そして、緩和ケアは診断された早い時期から、それぞれの患者さんのその時に合った方法で提供されます。初めてがんがんと診断され、ひどく落ち込んだり眠れない患者さんがいた場合に緩和ケアは力になります。また、がん治療と並行して緩和ケアを受けることもできます。抗がん剤や放射線治療中の吐気などの副作用のつらさに対処することは、がん治療と同じように大切です。緩和ケアを早い時期から取り入れることで、安心してがん治療を受けることができます。手術や化学療法などの治療と一緒に緩和ケアを受けることで、より良い状態でがん治療に励んでいる患者さんも増えています。

＊緩和ケアはどこで受けられますか？

緩和ケアは、入院、外来、在宅など希望にあわせて様々な場所で受けることができます。日本海総合病院は地域がん診療連携拠点病院に指定されており、緩和ケアを提供できる体制を整えています。患者さんとそのご家族を対象としています。

入院中の患者さんへは専門のチームが緩和ケアを担当し、退院後も継続して関わっています。

入院中の緩和ケア

●緩和ケアチーム

緩和ケアチームは、入院治療中におこる身体やこころの様々なつらさを和らげるための専門チーム

た、在宅医療の場合は、病院と診療所などが連携して緩和ケアを行っています。このほか、患者さんのためにお茶会（やすらぎティータイム）などのイベントも行っています。



緩和ケアチームのメンバー

です。チームは医師（精神科医師を含む）、緩和ケア認定看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士で構成されており、それぞれの専門的な角度から患者さんとそのご家族を支えます。

緩和ケアを希望する患者さんの病室に伺い、主治医・病棟看護師と相談しながら、患者さんの希望に沿った形でつらさを和らげる方法を提供します。

緩和ケアチームの診療は、主治医がお勧めすることもあります。患者さんやご家族が直接、希望することもできます。患者さんとチームをつなぐために全ての病棟に緩和ケア担当の看護師（リンクナース）を配置しています。つらい症状が続いている場合には、我慢しないで緩和ケアを受けましょう。

●タクティールケア

入院中の緩和ケアではタクティールケアを行っています。「タクティール」という言葉は、「触れる」という意味を持つラテン語の「タクティリス（tactilis）」に由来しています。

タクティールケアは、患者さんの手や足、背中などを柔らかに包み込むように触れるタッチケアです。肌と肌とのコミュニケーションを通して、相手の不安な感情を



タクティールケアの様子

取り除いたり、痛みを和らげたりする効果が期待されています。

緩和ケア外来

外来通院患者さんは、緩和ケア外来で受けることができます。入院中に緩和ケアチームの診療を受けていた患者さんも、退院後引き続き緩和ケア外来で診療を行います。緩和ケア外来を定期的に行うには必要に応じて受診すること、退院後も安心して療養していただくことができます。

自宅での緩和ケア

自宅での緩和ケアでは、在宅療養についての専門的な知識を持った院外の訪問診療医や訪問看護師、薬剤師、ホームヘルパーが協力し

てサポート体制を整えます。入院して緩和ケアを受けている患者さんや、緩和ケア外来に通院している患者さんが、在宅療養を希望した場合に、緩和ケアチームと当院の地域医療室が、地域の診療所や訪問看護ステーションと連携して、自宅での緩和ケアをサポートしています。

また、酒田地区医師会、薬剤師会、医療機関、介護保険施設等の関係者が意見交換や情報共有を図り、連携した緩和ケアの提供体制作りに努めています。そのための話し合い（地域連携緩和ケア協議会）を定期的に開催しています。

やすらぎティータイム

患者さんやご家族に、病院の中でもやすらぐことができる時間と場所を提供しています。季節ごとのお茶会を開催し、これまで、チェロやヴァイオリン、※二胡、琴、尺八などの演奏会も併せて行っています。

ご参加いただいた方からは、「落ち込んでいたけどいい気分転換になった」「病気であることを忘れられた」「これからの治療を頑張れそう」「音楽は癒されるね」などの言葉をいただいています。ボランティアで演奏してください

る方がいらつしやいましたら、ご連絡をお待ちしています。

※二胡（こ）は中国の伝統的な擦弦楽器の一種



琴の音色に心やすらぐひととき

緩和ケアを希望される方、話を聞いてみたい方は主治医あるいは看護師にご相談下さい。また、がん診療支援室でも相談を受けておりますので、直接ご相談下さい。

〔お問い合わせ〕

日本海総合病院がん診療支援室
☎ 0234-12615282



顔が見えるNST活動

「NST」とは、「ニュートリション（栄養）サポートチーム」の頭文字をとったものです。チーム医療の一環として栄養管理することで、治療効率を高めます。

日本海総合病院では、平成十六年から活動を開始し、学会認定の「NST稼働施設」となっています。当院が活動を始めた平成十六年頃は、全国で認定を受けていたのは189程度の施設数でしたが、平成二十二年には、1600以上の施設が認定を受けるまでになっており、NST活動は全国各地の病院に広がっています。

活動紹介

さて、実際「NST」というチームは、どういう活動をしているのでしょうか？なぜ「栄養」が治療に必要なのか？一見繋がりが無いような感じですが、いくつかの例で説明します。

まず始めに、当院のNSTで最も多く関わる「床ずれ」を例にとります。治療には塗り薬も必要ですが、患者さんに傷を治す効果が

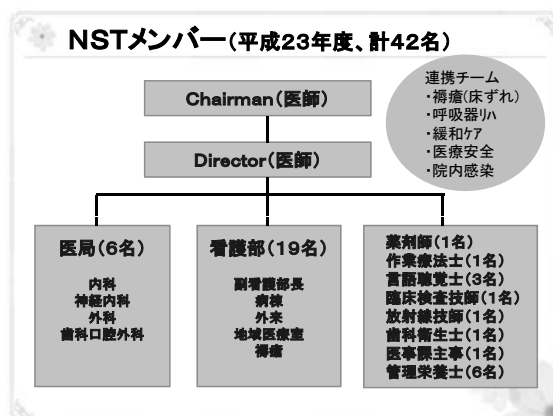
期待できる栄養を摂っていただくことで、早く治すことができます。また、その人に合った栄養を日ごろから摂ることで、「床ずれ」を予防することもできます。

次の例は、何らかの障害で食べるのが難しくなり、口から栄養が摂れなくなった場合です。このように食べられなくなった時には点滴をすることが多くみられますが、腸を使った栄養補給の方が良い場合があります。腸には免疫力を高める働きがありますが、食べていない期間が長くなると腸に栄養が入っていかず、免疫力が落ちて病気が長引くこともあります。私たちNSTは、なるべく腸を使って栄養補給する方法を考え、治療効果を高める手助けをしています。

NSTの紹介

このように患者さんに合った栄養を考えるのが、主治医の他に、栄養の専門知識を持ったメンバーで構成されているNSTです。当院のメンバーは、図1の構成になっています。

図1



地域連携

当院のNSTが関わった患者さんが治療を終えられて他の病院や施設へ転院する場合があります。また、自宅に戻られた場合でも、何らかの医療サービスが必要となることもあります。退院した後どこにいても、同じような栄養を摂ることで、健やかに過ごしていただけるよう、当院NSTでは地域連携にも力を入れています。

患者さんの情報を共有することはもちろん、栄養に関わる職員が同じ知識を持つように、定期的に勉強会を開催しています。勉強会には、当院以外の方々からも多数ご参加いただいています。

顔が見えるNST活動

当院のNST活動の特徴は「顔が見えるNST」として活動していることです。

一つ目は、病院の回診は医師、看護師が行うのが通例ですが、NSTでは、医師、看護師の他に管理栄養士、薬剤師、言語聴覚士などのチームで回診をしています。これは、患者さんに関わる全てのスタッフが直接に患者さんの状態を把握し、それぞれの専門分野でのサポートを素早く、適確に行うことを目的としています。また、NSTの回診はスタッフが酒田医療センターへ出向いても行っています。二つ目は、患者さんが転院した



回診メンバー

場合には、転院先のスタッフと当院のスタッフが直接に面談して患者さんの状態を確実に伝達するということをしています。

このように、患者さんと連携する病院施設のスタッフとも顔が見える関係を築き、信頼される活動を行うことを心がけています。



主治医と相談中のスタッフ

最後に

これからも、日本海総合病院NSTから「栄養の重要性」を発信し、地域全体で取り組んでいきたいと思っています。

日本海総合病院NST委員会委員長 橋爪 英二 医師への一問一答



Q1 先生が栄養に注目したきっかけは何でしょうか？

A1 私は外科が専門ですが、手術をする、患者さんの栄養状態が術後の経過に大きく関わることを経験しています。手術前に栄養状態が悪い場合、手術後に合併症を起こす危険が高く、回復にも時間がかかります。したがって、手術においては、呼吸や心臓の管理の他に、栄養管理が重要になります。また、同じ内容の栄養でも、点滴で体に入れた時よりも口から食べるなどの「腸を使う」方法にすると、みるみる回復してくることもよく見られます。手術など体に大きな負担がかかることに對して、その回復に薬も必要ですが、最も重要なのは患者さんの回復力であり、その源は栄養だと考えています。

Q2 NSTのやりがいはいは、どういったところにありますか？

A2 NSTとは多職種の人たちが一人の患者さんの全身体態を改善するために行う、チーム

Q3 NSTがこれから目指すものは何でしょうか？

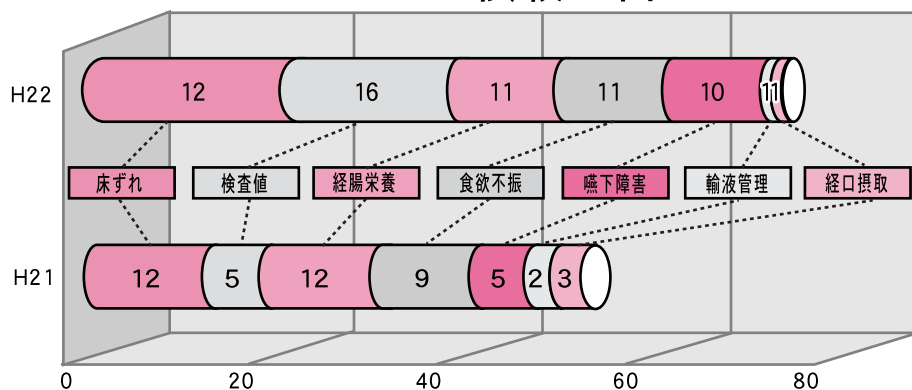
A3 栄養状態の改善には時間がかかるものです。しかしながら、当院のような急性期病院では、長期に入院することは難しく、

医療です。必ずしも結果が期待通りにいくわけではありませんが、チーム医療がうまく作用して患者さんが元気になれる過程に立ち会えるときに、やりがいを感じます。



回診の様子

NSTの依頼理由



栄養管理が途中の状態でも退院されることも少なくありません。よって、自宅や施設に移られても一貫して栄養管理が続けられるようにしたいと考えています。そのために、地域が一体化し、お互いの連携を深め、病院・施設・自宅、どこにいても同じ栄養管理が行われる環境作りを目指しています。

医療相談あれやこれや

高額療養費貸付制度

医療連携室では、患者さんの負担をより少なくするために、様々な療養費の制度をご案内しています。その中でも、特に外来の患者さんが多く利用されている「高額療養費貸付制度」についてご紹介します。

ひと月にかかる保険診療の医療費が高額療養費の自己負担限度額を超えた場合、手続きをすれば、高額療養費の払い戻しが受けられますが、当座に必要な医療費は、すぐに支払う必要があります。入院の場合だと、あらかじめ提示することによって支払い額を限度額までに抑えることができる「限度額認定証」がありますが、これは外来では使うことが出来ません。では外来の医療費が高額になった場合はどうすれば良いのか。こんな場合に利用したいのが「高額療養費貸付制度」です。

この制度は、ひと月の保険適用分の医療費が高額になった場合、自己負担限度額を超えた額（高額療養費として戻る予定の金額）の※8～9割を、無利子で貸し付け

が受けられるものです。「貸し付け」と聞くと後で返さなければならぬのかと思われがちですが、実際には返す必要はありません。後で払い戻しを受ける高額療養費が充当されることで、貸付を受けた分が相殺されるからです。つまり高額療養費の払い戻しを早めに受けることができる制度と考えていただければ分かりやすいかと思います。

もちろん、高額療養費の自己負担部分と残りの1～2割はご用意していただく必要がありますが、この1～2割も、約3～4ヶ月後に高額療養費として患者さんへ払い戻しされます。このため最終的に患者さんが負担する分は自己負担額のみということになります。

この制度は医療費を支払う前に申請する必要があります。また加入されている健康保険によって貸付される割合は変わってきます。

【お問い合わせ】

日本海総合病院 医療連携室

がん治療中の医療用ウィッグと 乳房手術後の補正下着相談会

がん診療支援室では、治療に伴う脱毛でお悩みの患者さんを対象に各メーカーが交替で相談会を開催しています。

毎月第2、第3木曜日と第4金曜日にがん治療に伴う医療用ウィッグの相談会、毎月第2火曜日が乳房手術後の補正下着相談会となっております。

実物を手にとって見ながら、専門のアドバイザーが無料で相談に応じています。

また、年2回（8月・1月）各メーカーが合同で相談会を開催しています。それぞれの商品を比較して見ることで、アドバイザーから説明を受けながら試着し、より自分に合ったものを選ぶことができます。

参加された患者さんからは、「主治医の先生から髪の毛が抜けるから、カツラを準備しておいた方がいいよと言われたのですが、実際こんなに抜けるとは思ってなかった。」「抜けると本当に寂しくって準備しておいて良かったと安心しました。」「かつらは、自然な感じに見えて違和感が全くありませんでした。」



ウィッグの相談会

【お問い合わせ】

日本海総合病院がん診療支援室
☎0234-26-5282

乳房手術後の患者さんからは、「手術後用の下着って、どこのお店に行っても置いてないのですね。困っていたから助かりました。」「今までは自分で下着を工夫して直していたのです」などの声が寄せられています。

がん診療支援室では、患者さんの思いに寄り添いながら、治療や心のケアの支えになれるよう相談に応じています。お気軽にご相談ください。

診察券が 新しくなりました

当病院機構では、日本海総合病院と酒田医療センターとのシステムの共通化を進めており、平成23年12月1日から両方の病院共通で使用できる診察券を新たに発行しました。

新しい診察券のデザインは、日本海の海面に反射する太陽の光をイメージした水色を基調とし、両病院の名称と『ちようかいネット』イメージデザインが入っています。

新診察券の発行により、これまでの酒田医療センターの診察券は使用できなくなるため、新しい診察券への切り替えを進めています。なお、既に日本海総合病院の診察券をお持ちの方は、今後もそのまま使用できますので切替える必要はありません。



電子看板 (デジタルサイネージ)

日本海総合病院を利用する方々から、病院の機能などを知っていただくため、PR性の高い電子看板に変更しました。

新しい、電子看板はLEDを使用しているため、消費電力が少なく、且つ鮮明な文字を表示できるようになり、離れたところからでも見やすくなりました。



再来受付機を 増やしました

日本海総合病院のエントランスホールの再来受付機を4台から5台に増設し、救命救急センター入口側に新たに2台を設置しました。これまではエントランスホールの4台で受付を行っていましたが、混雑する時間帯があることや、受付機から外科外来までの距離が長く患者さんにご不便をおかけしていました。

これからも、患者さんの声に耳を傾けながら、病院施設の利便性の向上を図ってまいります。



クリスマス コンサート

12月21日、酒田医療センターのクリスマスコンサートを開催しました。療養病床に転換してから一年が経過し、長期入院の方々が増



サンタさんの正体は、 形成外科の柏医師



外来を受診した小さいお子さんにお菓子のプレゼントを一人ひとりに手渡しました。中には、サンタさんと一緒に記念撮影をしたご家族の方もいらっしゃいました。

サンタクロースが来院、 プレゼント！

12月22日に日本海総合病院にサンタクロースとトナカイが来院し、患者さんへのクリスマスプレゼントを配りました。

えていることから癒しの音楽をと考えていたところ、鶴岡市のギターとオカリナのグループ「もくれん」のお二人に演奏していただきました。当日は、寒波の後で少し寒い中でしたが、患者さんだけでなく、ご家族の方々も初めて聞くオカリナの調にうっとり聞き入っていました。知っている歌の時には、一緒に歌ったり、手拍子をしたりと和やかなコンサートとなりました。



病院からのお知らせ



病院見学会のお知らせ

看護学生・看護師の方を対象とした、病院見学会を下記の日
程で行います。

当機構への就職を希望・検討中の皆様のご参加をお待ちして
おります。

開催月日	平成24年 3月26日(月)
時 間	午前10時～12時30分
会 場	日本海総合病院
内 容	・病院内見学 ・勤務条件、福利厚生及び教育制度の説明 ・先輩看護師との懇談会

○申し込み・問い合わせ先

3月21日(水)までに電話にてお申込みください。

山形県・酒田市病院機構 法人管理部経営企画課

☎0234-26-2001(代表)

※なお、見学会当日に参加できない方で病院見学会を希望する
方についてもご相談に応じます。



リハビリテーション科
あんどう
安藤 志穂里

① 健生ふれあいクリニック
② 秘湯めぐり、バンド活動

◆ 転入者へ酒田医療センターへ
① 前任地
② 時間があつたらやりたいこと

医師異動のお知らせ

市民シンポジウム 庄内から発信する オーダーメイド医療。

山形大学 医学部 グローバルCOEプログラム先端分子疫学研究所[酒田分室 開設記念]

日 時／3月17日(土) 午後1時30分～3時30分(1時受付)

場 所／酒田市民健康センター3F大研修室

参加費／無料

プログラム

①山形分子疫学コホート研究の取り組みについて

……………山形大学医学部先端分子疫学研究所

②オーダーメイド医療実現に向けて

……………山形大学医学部、日本海総合病院

オーダーメイド 医療ってなに？

現在の医療は病気に対しての治療や予防を行っています。
しかし、人によっては、同様の治療でも副作用があったり、
効果が現れにくい場合もあります。オーダーメイド医療
が実現すれば、それぞれ個人の体質にあわせた予防や治
療ができるようになり、効果的な医療が期待できます。

申し込み・問い合わせ先

山形大学先端分子疫学研究所 酒田分室

☎0234-28-8262(酒田)、FAX0234-26-5114



編集後記



通勤途中にて、水面に白く霧が立ち、水鳥が気持ちよく風呂に入っているような風景に出会うことがあります。
鳥達が活発に泳ぎ回るのにひきかえ、私達の背中では寒さでいっそう丸くなります。そんな毎日の何気ない風景に
庄内の冬の趣深さと厳しさを感じます。そして、春はもうすぐですね。
〈栄養管理室 小林 大樹〉

広報誌「あきほ」 第12号 平成24年 3月(季刊)

発行部数：2,500部

編集発行●地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 広報企画委員会(事務局：法人管理部)

〒998-8501 山形県酒田市あきほ町30番地 TEL:0234-26-2001(代表) FAX:0234-26-5114

URL: <http://www.nihonkai-hos.jp/> E-mail: kanribu@nihonkai-hos.jp

印刷●株式会社小松写真印刷